

# ひぐち秀敏

ひで

とし

57歳

県政に**勇氣**

南魚沼に**元氣**

南魚沼の豊かな自然と生活を守るため  
柏崎刈羽原発再稼働に反対し

## 脱原発社会へ

数の力だけで決める政治を変えるため

## 多様な意見を県議会へ



## 農業



## 農は地域の礎 98%占める家族経営守る

南魚沼の豊かな田んぼや山林、河川とそこで営まれる農林水産業は、この地域の礎です。農林水産業が元氣になれば、加工、販売など地域経済の活性化、雇用拡大にも寄与して、地域社会全体を元氣にすることができると考えます。

今年から2029年までを国連が「家族農業の10年」と定め、小規模・家族農業の再評価が始まっています。個別所得補償制度の復活で農業経営をしっかりと下支えし、目標値を設けて食料自給率を高めるべきです。

国内農業、畜産業の衰退を招くTPP協定、それ以上に市場開放を迫られる日米2国間の新たな通商協定に反対します。

県の農林水産関係、醸造関係の各研究機関は、全国に誇れるブランド開発の実績を持っています。これをいっそう充実させ、加工品の新潟・魚沼ブランドを守り、新規に育てる取り組みを強めます。

- ◆ 農業の6次産業化により、農業と加工業、商業の連携を強め、経済振興をはかります。
- ◆ 中山間地農業を守り、小規模・家族農業を保護します。
- ◆ 農業経営を下支えする個別所得補償の復活・拡充を求めます。
- ◆ 魚沼米など農林水産物、加工品の優良ブランドを守り、次世代ブランドの開発をすすめます。
- ◆ TPPからの脱退を求め、TAG(日米物品貿易協定)に反対します。
- ◆ 政府によるJAへの「改革」の押し付けではなく、組合員の意思に基づく自主的な改革を支援します。

## 地産地消で地域循環型経済つくる

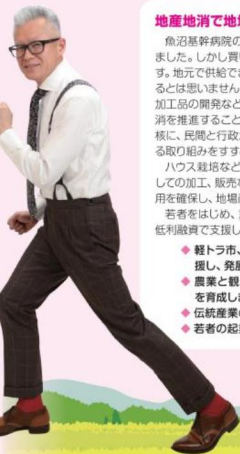
魚沼基幹病院の開設で、旧大和町など市内に住む若者が増えました。しかし買い物となると、市外でする人が多いと聞きます。地元で供給できる農産物が、価格や品質で大型スーパーに劣るとは思いません。販売所の新設、営業時間の工夫、若者が好む加工品の開発など、生産、加工、流通が連携することで地産・地消を推進することができるとは必ずです。南魚沼の強みである農を核に、民間と行政が連携して「地元でお金が回る仕組み」をつくる取り組みをすすめます。

ハウス栽培など冬期間にも行える農業の支援と、お土産品としての加工、販売など観光との連携で、年間をとおして仕事と雇用を確保し、地場産業を育成することが必要です。

若者をはじめ、意欲ある人の起業を、設備投資や運転資金の低利融資で支援します。

- ◆ 軽トラ市、粘まつりなど地域の「賑わいづくり」を支援し、発展を促します。
- ◆ 農業と観光の連携で、仕事と雇用を拡大し、地場産業を育成します。
- ◆ 伝統産業の高付加価値型への事業展開を支援します。
- ◆ 若者の起業を支援します。

## 雇用



# 原発

## お金の流れ変える再生可能エネルギー

発電所の大規模施設の建設、設備機械の製造は、大手ゼネコンや巨大メーカーが請け負い、地方の業者に回るのはせいぜい下請け仕事です。化石燃料やウランは輸入品で、代金は海外に流出します。都市が負担する莫大な電力料金のごく一部しか、発電所が立地する地方に届いていないのです。

一方、再生可能エネルギーは、いずれもその土地の自前の資源から生み出されます。設備も大規模なものから家庭で使えるレベルまで多様です。資源循環型の再生可能エネルギーは、地方に仕事を生み、地域循環型経済の要となることが期待できます。原発ゼロ。こんなにも夢があり、かつ実現可能なビジョンが、他にあるでしょうか。

## 故郷の脅威、柏崎刈羽原発の再稼働絶対反対

福島原発事故で放出された放射性物質は、風に乗って運ばれ、数十キロ離れた場所にも、高濃度の汚染をもたらしました。

冬の新潟では、日本海から吹く湿った風が山にぶつかって、南魚沼に大雪を降らせます。柏崎刈羽原発で事故が起きたら、雪とともに大量の放射能が降り注ぎ、この地域全体が、人の住めない場所となりかねません。

柏崎刈羽原発再稼働の是非を県議会で議論するのは、今年4月の選挙で選ばれた議員です。私は柏崎刈羽原発の再稼働に全力を尽くして反対します。

- ◆ 野党が共同で国会に提出している原発ゼロ法案を支持し、成立を後押しします。
- ◆ 再生可能エネルギーの開発、導入をすすめて、地域循環型経済の要に育つよう支援します。
- ◆ 南魚沼の暮らしと豊かな自然にとって脅威となる柏崎刈羽原発再稼働に反対します。

# 医療・福祉

## 人材確保で医療・福祉を持続可能に

魚沼は、全国有数の医師不足の地域です。基幹病院を核に市民病院や診療所など病院をネットワーク化し、機能分担や医師派遣を行うことで、持続可能な医療体制構築をめざします。魚沼基幹病院ができた当初「助からなかった命を助けられるようになった」と言われました。しかし今、病院から心臓のお医者さんがいなくなったため、大事な救命救急の機能が大きく損なわれています。

看護師も不足しています。当初計画で454床とされた基幹病院のベッドが、308床しか使われていません。市民病院がいつも満床で、入院できない事態も生じています。介護従事者の不足はさらに深刻です。厚生労働省は2025年に、介護職員が約38万人不足すると試算しています。

医師や看護師、介護職員の即効性のある確保策が、なかなか見つからないのが実情です。しかし、住民の命と尊厳の問題であり、必要な医療・福祉を提供できる体制の維持をおきらめる訳にはいきません。

県の政策で始まった魚沼地域医療再編の取り組みが中途半端なものとならないよう、県の責任ある対応を求めています。介護についても県は、市町村に必要な指導と援助をする役割を課されています。介護職員確保を重点施策として取り組む必要があります。

- ◆ 魚沼基幹病院が安定した経営基盤を確立するための県の財政支援を求めます。
- ◆ 医療人材の育成と確保を、行政や養成機関と連携してすすめます。
- ◆ 地域・行政・医療・介護の地域連携で、家庭や介護現場の負担軽減をめざします。
- ◆ 人材確保のため、介護職員の処遇改善へ向けた行政の積極的な支援を求めます。
- ◆ 子ども、高齢者の医療費の負担を軽減します。



# 教育

## 子どもたちの笑顔のため、きめ細やかな教育環境の実現を

いじめや不登校、虐待が大きな社会問題となる中、子ども一人ひとりに目配り・気配りを行き届かせる教育が必要と考えます。新潟県では2015年度から小・中学校で少人数学級が実施されました。しかし、小学校3年生からの35人以下学級については「1クラス25人以上」の下限設定があり、すべての学校で実現していません。南魚沼市・湯沢町では、小学校で7学級が35人以上となっています。子どもたちの心のケアや多様なニーズ、問題の防止などにきめ細かく対応するためには、養護教諭・カウンセラーなどの専門職員の配置・増員も必要です。

普通科高等学校は、全県一区制となり、地元に行ける・行きたい学校がなくなっています。これにより通学や親の経済的負担が大きくなっています。

小・中・高校に地域の企業、産業、文化などの授業を取り入れ、地元の将来を担ってくれる子どもたちを育てる。こうした視点の取り組みも必要と考えます。

- ◆ 1クラス25人以上の下限設定を撤廃し、小・中学校の30人以下学級の早期実施と高校への少人数学級の拡大を求めます。
- ◆ 児童・生徒の心のケア、特別支援教育の充実のため、教員・専門職の配置・増員を求めます。
- ◆ 地元から通える高等学校の充実に取り組みます。
- ◆ 「高等学校等就学支援金制度」の所得制限の廃止を求めます。
- ◆ 給付型奨学金制度の拡充をめざします。
- ◆ 学校と地域が連携し、地元への思いを育む教育の実現をめざします。
- ◆ 児童相談所の人員・機能の拡充を求めます。



# 議会

## 議会の見える化をすすめます

自治は、まちづくりの主人公である住民から出発します。みんなで議論し、考え、行動していくためには正確な情報が必要です。住民参加の大原則として、徹底した情報公開をすすめることが必要であり、議会の情報公開も例外ではありません。

新潟県議会の議論内容や決定事項は、パソコンなどを使った中継と議事録の閲覧のほかには、「にいがた県議会だより」で公開されています。しかし、パソコンなどの使用環境のない県民も多く、誰でもが知りえる情報源は「にいがた県議会だより」のみとなっています。

現在の「にいがた県議会だより」には、発言者の氏名、議案への賛否の記載がなく、議員個人ならびに会派の議会での活動を知ることができません。住民参加の自治をめざし、「にいがた県議会だより」を改め、議会の情報公開を積極的にすすめます。地域の実情を政策に反映させるため、住民の声を聞く機会をつくります。

- ◆ 「にいがた県議会だより」を改め、議員の発言内容、賛否の見える化をすすめます。
- ◆ 県政報告会の開催や広報紙により、「ひくち秀敏」の活動の見える化をすすめます。
- ◆ 地域住民の声を聞く機会として、集落単位のミニ集会などを開催します。



## PROFILE プロフィール

- 1961年 南魚沼市(旧塩沢町)生まれ
- 1980年 県立六日町高校卒業後、新潟県に入職
- 2006年 塩沢小学校PTA会長(2期)
- 2015年 北里大学保健衛生専門学院 PPA副会長(3期)
- 2018年 38年間在職した新潟県を退職
- 同年6月 県議会議員補欠選挙で惜敗



Facebookもご覧ください。

